


この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてくれます。

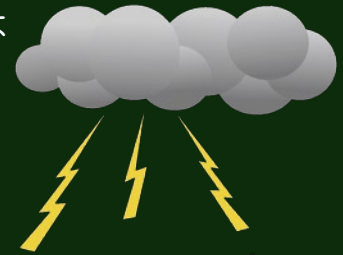
7時間目は「冬の雷」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

雷というと、大多数の人は夏の夕方頃にゴロゴロと鳴り出し、その後夕立が来るという情景を思い浮かべるのではないのでしょうか。

現に「雷」は夏の季語ですから、太平洋側にお住まいの方は「冬に雷?」と不思議に思われるかもしれません。

ところが、日本海側では冬に雷が鳴ることは珍しいことではないのです。



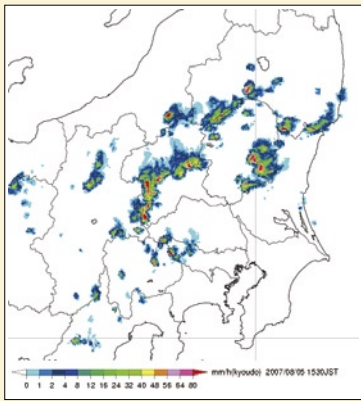
7時間目
冬の雷



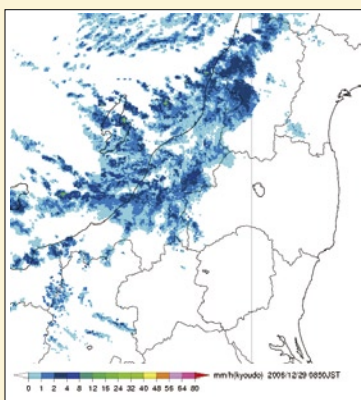
冬の日本海側では雷とともに雪が降ることがあります。降雪と雷が同時に起こることは世界でも珍しい現象です。

「雪起こしの雷」とか「雪下ろしの雷」とも呼ばれる冬の雷は、夏の雷に比べて少し異なった性質を持ち合わせています。その特徴は、昼夜を問わず発生すること、雷雲の高さが夏の半分以下であること、「発雷*」が存在することなどが挙げられます。

各地の気象台では、雷の発生するおそれがある際には、季節を問わず、雷注意報 (<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>) を発表して広く注意を呼びかけ



夕立の気象レーダー画像
(2007年8月5日)
群馬県や栃木県を中心に雨雲が点在しています。
青→緑→黄→赤となるにつれて雨雲が発達していることを表しています。



冬の雷の気象レーダー画像
(2006年12月29日)
雪雲が新潟県を覆っています。夏ほど発達はしていませんが、日本海側に雷をもたらします。

ています。

また、本年5月27日から、雷発生の可能性や雷の激しい地域の詳細な分布と1時間先までの予報として、「雷ナウキャスト」の提供を行っています。合わせてご利用ください。

* 突然、電光が走り大きな雷鳴が轟き、それも「発」で終わる現象



はれるんプロフィール

名前: はれるん (気象庁マスコットキャラクター)
種別: 地球の自然 (太陽、雲、雨)
所属: 気象庁総務部総務課広報室
趣味: 天気予報
仕事: 国民の気象庁に対する親近感を深めること。



雷ナウキャスト

検索

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/> 左記ページにある「雷」のボタンをクリックしてください。